

子どもが泣いています 悲鳴を上げています

ネグレクトであることを意識しない親が増えています・

動物園の母親虎が育児放棄し、飼育員の手厚い看護が必要となりました。

そんなニュースがありました、人間の世界も似たような事件が多く見られるようになってきました。子どもは社会の宝です。私たちは人間です。他の動物と同じではないことを認識し、“子どもを大切に”の心を失いたくないものです。

年間 4 万件以上の児童虐待があることを知ってください

あなたは子どもが健康に成長・発達していくために、親としてしっかり育てていますか。

子どもは親によって養育を受ける権利を持ち、親はそのためにしっかり育てるという責務を負っています。しかし全国の児童相談所には年間 4 万件以上の児童虐待の報告が寄せられています。

虐待とは、子どもの身体を傷つけたり、暴行を加えたり、わいせつな行為をさせたり、食事を与えなかったり、長時間放置したり、暴言を吐いたりすることです。

虐待の程度がひどいと、子どもの生命・安全を守るために親から分離して病院や里親・児童福祉施設などで子どもを一時保護することがあります。

もしあなたが家庭の中でたくさん問題をかかえて悩んでいた、子どもに虐待をしそうになったら、電話で相談してみてください。

埼玉子どもを虐待から守る会 048-835-2699

さいたま市子育て不安 110 番 048-881-0922

専門家の方々が相談にのってくれます。また、子どもが急に大人の機嫌をとったり、ひとつの行動にビクッとしたり、親が近づくとよけたり、表情が動かなくなったり、特別な病気もないのにご飯を食べなかったりしたときも細かな注意が必要です。

きっと寂しくてもっともっとお母さんやお父さんにかわいがってもらいたいと思っているのでしょうか。ぎゅうっと抱きしめてあげてください。また、自分が日本語がわからないからといって子どもの学校の参観日に行かなかったり、汚れた服をずっと着せておいたり、朝ごはんを作ってあげなかったり、お風呂に入れられないのも大きな虐待です。

自分が親であること、子どもがいることを幸せなことだと考えて、どうか子どもたちを大切に育ててください。

(文・石井ナナエ)



www.ficcc.jp/foreign/

●「インフォメーションふじみの」のバックナンバーを見ることができます

「外国人支援相談センター埼玉」を知っていますか

埼玉県には現在12万人を超す外国籍市民の方が暮らしているといわれています。その中で慣れない日本生活に、さまざまな悩みを抱えている方も少なくありません。そのような外国籍市民に心強い相談相手になってくれる組織が昨年8月に誕生しました。「外国人支援相談センター埼玉」です。このセンターは、埼玉県と東京入国管理局、そして社会保険労務士会が手をつなぎ作り上げたものです。

このセンターの特徴は、国際交流協会が行ってきた電話相談の「ヘルプデスク」と同じところにあるということです。電話相談から、直接相談者にあつて相談できるというシステムです。

電話相談の「ヘルプデスク」は週五日8カ国語で生活全般の相談に乗っていますが、もっと詳しく相談したいという相談者からの希望から生まれたものです。現在「外国人支援相談センター」は月水金と週3日の開設となっていますが、親身の相談と大きな期待がもたれています。身近に相談者がおられましたら一度相談してみたいはいかがでしょうか。

外国人支援相談センター埼玉 ☎048-833-3600

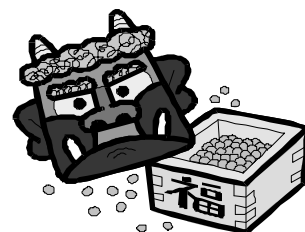
外国人ヘルプデスク ☎048-835-2423

国際交流協会 ☎048-833-2992

シリーズ②『外国籍市民の目から見た日本人の不思議』“節分”

今月は「節分」についてです。節分とは、各季節の始まりの前日のことで「季節を分ける」ことを意味しています。特に最近では毎年2月3日を指す場合が多く、邪気を追い払うために古くから行われている日本の行事のひとつです。

節分の時期になると、日本では多くのスーパーマーケットなどで節分にちなんだコーナーが設けられ、そこでは福豆と呼ばれる炒った大豆が売られます。多くの家庭では父親などが鬼の役を演じ、その鬼に子どもたちが豆を撒く姿が見られます。豆を撒く時「鬼は外、福は内」と掛け声をかけることで一年の無病息災を願うのです。また福豆を自分の年齢の数より1粒多く食べると、体が丈夫になり、風邪をひかないという習わしがあり、豆撒きの後は家族でお茶を飲みながら福豆を食べたりします。しかし、これらの習慣は全て地方によってさまざまで、近畿地方などでは恵方巻きという、のり巻きを毎年異なる方角を向いて黙って食べる習慣などがあるようです。皆さんも素敵な1年が過ごせるよう日本流で無病息災を願ってみてはいかがでしょうか？ 文/神田 歩



昨年12月17日、日本伝統行事『蕎麦打ち』が日本語指導の戸塚さん指導のもと実施されました。打たれた蕎麦は“年越しそば”と言い、長寿を祈る食べ物とされます。おいしかった！！

蕎麦打ちをやってみました

●妊婦健診や出産にかかるお金の負担が軽くなります！

厚生労働省では昨年10月から出産や妊婦検診にかかわる経済的負担を軽くする仕組みを実施しています。詳しいことは厚生労働省のホームページに出ています。関心のある方はセンターに問い合わせてください。

センターの外国人相談

☎ 049-269-6450

www.ficcc.jp/living/

●6カ国版の生活が'ト'を掲載しています